

<b>キュウコン</b>	ほのお	なし	HP	攻撃	防御	特攻	特防	早さ
もらいび	なし	ひでり	73	76	75	81	100	100
主な持ち物	こだわりメガネ、たべのこし、ラムのみ、ふうせん、だっしゅつボタン、あついいわ							
主な技	だいもんじ、かえんほうしゃ、フレアドライブ、オーバーヒート、めざめるパワー(格、氷、地)、どくどくみがわり、まもる、さいみんじゅつ、わるだくみ、かなしばり、サイコショック、おにび、ほえる、れんごく							

**特徴** {ひでり} は強力な特性なのだが、種族値と技が中途半端で扱うのが難しいポケモン。更に {ひでり} をより確実に発動しやすい上に攻撃範囲が広いメガリザードン Y がいるため、キュウコンの採用の仕方が難しくなっている。メガリザードン Y との差別化としては、キュウコンがメガストーンを必要としないのがやはり大きいので、メガヘルガー、メガバシャーモ、メガリザードン X などと組み合わせる方針で戦っていくといいだろう。この場合はキュウコンが場に長く居座りすぎるとよくないので、キュウコン自身が晴れを利用して戦えるように『こだわりメガネ』を持たせるか、『だっしゅつボタン』を持たせてさっさと交代するか、といった使い方が良い。『だっしゅつボタン』キュウコンの場合は、初手で『こだわりスカーフ』サンダーなどを出して、「ボルトチェンジ」でキュウコンに交換→キュウコンが何か攻撃を受ける→メガヘルガーなどを出す→晴れターンが終わったらキュウコンを出して、相手に倒してもらって死に出してメガヘルガーなどを出す。といった使い方になる。ポイントは、初手で出さずに交代で出していくということと、攻撃を一発耐えてその後に再び天候を取る必要があるということになる。また、『たべのこし』『どくどく』『まもる』のようにアイテムに依存する使い方をする場合も、メガリザードン Y と比べて差別化できる。この使い方をする場合は天候を利用するポケモンが場に出るころには晴れのターンがなくなっていると思われるので、晴れへの依存度が低い構築となるだろう。

**対策** まず警戒したい技は「さいみんじゅつ」「おにび」などの状態異常。そして、キュウコンの後ろにいるメガヘルガーなどの晴れエースである。キュウコンの前で「みがわり」や『ラムのみ』持ちが積み技を使って、晴れターンを消費しながら戦える態勢を整えたり、いっそキュウコンをさっさと落としてから相手の天候エースを2体がかかりで倒したり、といった対策を取っていくと戦いやすいだろう。バンギラスは、キュウコン、メガヘルガー、メガリザードン X の全てに対面からなら強いので、特に有効な対策となる。『だっしゅつボタン』キュウコンはメガヘルガーが相手にいたら頭に入れておいた方がよく、最初の交換でキュウコンを一撃で倒すことが出来たら一気に有利になるので、出来るだけキュウコンに大ダメージを入れることが出来るポケモンを早めに出していきたい。

<b>アタッカー型</b>	ひでり	HP	攻撃↓	防御	特攻	特防	早さ↑	性格
いのちのたま		149	xx	75	133	120	167	おくびょう
オーバーヒート	サイコショック	さいみんじゅつ、おにび			わるだくみ			

有利な対面を作れたら様子見て「さいみんじゅつ」を打っていき、当たったら大人しく控えに交換したり、「わるだくみ」から有利不利を逆転したりを狙う。実はキュウコンにとって有利な対面というのがあまりないのが問題なのだが、ギルガルドやハッサム相手だと比較的狙いやすい。実際のところキュウコンは不安定なポケモンなので、無理やり「さいみんじゅつ」を当てないと勝てない場面もしばしば出てくるだろう。「さいみんじゅつ」の命中率が不安なら「おにび」にするとよい。ただ、元々キュウコン自体が不安定なポケモンなので、採用した以上多少の命中難は割り切って、爆発力にかけた方がいい面もある。他には『こだわりメガネ』にしたり、「めざめるパワー(格)」を採用したりとバリエーションがある。

<b>脱出型</b>	ひでり	HP	攻撃↓	防御	特攻	特防↑	早さ	性格
だっしゅつボタン		180	xx	126	102	132	121	おだやか
さいみんじゅつ	ほえる	かえんほうしゃ			おにび			

主な立ち回りは上に書いたとおり、[ようき]ガブリアスの『こだわりハチマキ』『げきりん』、[おくびょう]サザンドラの『こだわりメガネ』『りゅうせいぐん』を目安に耐久を上げている。脱出型は一度攻撃を耐えて引っ込めて、その後相手の攻撃に合わせて死に出すことが大事となるが、どちらにせよキュウコンを相手が攻撃してくれないで起点にされる展開が一番嫌なものとなる。そのため、技構成は起点となることを嫌った妨害技を多く入れたものを上では紹介したが、ここまでやらなくとも、起点となることをとにかく嫌う技構成にしていけるのでちょうどよいだろう。